

市立小中学校適正配置実施計画検討に関する
大花羽小学校保護者への説明会・意見交換会の主なご意見

主な意見		
No	保護者意見	教育委員会の考え方
1	文科省の基準では、小学校は1学年2学級以上が望ましいとなっているが、菅原小と統合しても3学級以上にはならない。豊岡小と統合したほうがいいのではないか。	まず、菅原小との統合で複式学級の解消はできると考えます。学校の施設の収容人数の問題で、豊岡小とすぐに統合するというのは難しく、新築や増築を行う必要があるため時間がかかることが想定されます。その間も複式学級は続いてしまう予測のため、まずは複式学級の解消を行いたいと考えています。
2	第3段階で豊岡小と統合するとき建物はどうなるのか、新築するのか。	現段階では断言できませんが、何らかの方法でキャパシティは確保したいと思います。
3	菅原小・豊岡小の2回統合では子供に負担である。体操服も2回買うことになるので経済的にも負担である。統合後に、違う体操服を着ているといじめになる可能性もあるため、最終的に豊岡小、菅原小、大花羽小の4校で統合を予定しているのであれば、統一の体操服にしてもらいたい。	今回の統合は、複式学級の解消をする緊急の対応を踏まえた案です。その後、適正規模になるまでには時間がかかります。現時点で第3段階の統合は決定しているものではありません。3校統一の体操服の案については、今後の統合準備委員会の中で詳細な部分を決めるうえでの参考にさせていただきます。
4	年度途中での統合はあるのか。	子供達や保護者への負担が大きくなるため、事務局としては想定しておりません。
5	統計が出ているため子供の人数が少なくなっていくのは分かっていたはずだが、今の時期になって統合の話が出てきたのは何故か。もっと早い段階から動き始めていればここまで急に動く事はなかったのではないか。	小学校は地域に根付いている部分が大きいため、人数だけで検討するのは難しい部分があります。しかし、大花羽小学校において令和4年度に常総市で初めて全学年複式学級となるため、動き出した理由はその部分が大いところではあります。
6	反対が多いから統合が立ち消えになる訳ではないのか。	反対によって立ち消えにするものではありません。児童の良好な教育環境の確保が目的のため、各方面に丁寧の説明し、ご理解をいただきながら、必要に応じて修正しつつ、目的達成に向けて進めてまいりたいと思います。

主な意見		
No	保護者意見	教育委員会の考え方
7	統合の際にどちらの建物を使用するかは決まっているのか。	現時点で決定はしていませんが、建物の規模や施設内容を考慮すると、大花羽小学校の建物を使用することは難しいと考えられます。選択肢として考慮し、今後検討してまいります。
8	スクールバスが出る事は決まっているのか。また学校が変わる事で教材等が変わる場合にはその補助はどうなっているのか。	教材への補助については今後の議論の際に検討させていただきたいと思います。 スクールバスについては必須と考えております。令和4年度に統合に向けての合同授業を予定していますが、その際の登校時に実際にバスを走らせてルート検証を行うことを予定しております。
9	スクールバスに関する保護者の料金負担はどのようになるのか。	次年度に合同授業を行う際にルート検証等を行い、それを踏まえて議論をしていく形となります。
10	合同授業について1授業を一緒に行った位で交流が深まるとは思えない。遊び等の形でもいいので回数を増やすほうがよいのでは。	コロナ以前はプールを合同で行う等の交流もありました。学校や指導課とも協議を行い、合同授業を全日で行う等の工夫を行っていきたくて考えております。
11	今後の協議はPTA役員のみで行っていくのか。	取りまとめを行う際に中心となっていただくこともあるかと思いますが、あくまでも学校や保護者と一緒に進めていくことを想定しております。
12	統合時の先生の配属はどのようになるのか。知っている先生がいてくれたほうが子供達も安心するのではないか。	教職員の配置は茨城県の管轄になりますので、指導課や関係部署と連携し、配慮を要望していきたくて考えております。
13	統合後の学校名はどのようになるのか。	現時点では決まっておりません。今後の統合準備委員会の中で協議して決定していく形となります。
14	正直、統合はまぬがれないと思うので、通学路や体操服など詳細な部分について早く決めてもらいたい。人数が減っていることは承知しているので、統合すること自体よりも、その後の詳細な部分に関しての方が気になる。	